



株主・投資家のみなさまへ

# 第61期 ビジネスレポート

平成23年10月1日▶平成24年9月30日

 **日東エフシー株式会社**

証券コード：4033

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社第61期（平成23年10月1日から平成24年9月30日まで）の決算を終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度における連結売上高は172億13百万円（前期比1.1%増）、営業利益は21億47百万円（前期比11.1%増）、経常利益は25億59百万円（前期比42.9%増）と順調に推移しましたが、減損損失16億21百万円を計上したため当期純損失は1億9百万円（前期は8億10百万円の当期純利益）となりました。

（肥料事業）

肥料価格の改定に伴う前倒し需要への対応などきめ細かく受注の確保に努める一方、生産性の向上による原価低減や経費の削減など収益性の改善を図りました。この結果、売上高118億34百万円（前期比1.2%増）、営業利益17億8百万円（前期比15.6%増）と増収増益を確保しました。

（商社事業）

アグリ・化学品両部門とも国際市況の変動や為替水準の影響により原価率が上昇しましたが、弾力的な価格への対応など受注の確保を図る一方、経費の削減に努めました結果、売上高38億41百万円（前期比3.3%増）、営業利益3億11百万円（前年比0.4%減）と増収減益となりました。

（不動産賃貸事業）

NFC名駅ビルの建替えによる影響が大きく減収となり、賃貸物件ごとの稼働率の向上や原価の低減に努めましたが、売上高11億39百万円（前期比7.0%減）、営業利益5億85百万円（前期比1.1%減）と減収減益を余儀なくされました。

（その他事業）

ホテル・運送・倉庫の各部門とも稼働率の向上と経費の削減に努めました結果、その他事業全体では、売上高6億90百万円（前期比0.5%減）、営業利益1億20百万円（前期比0.9%増）と減収増益となりました。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高176億円（当期比2.2%増）、営業利益19億円（当期比11.5%減）、経常利益20億円（当期比21.9%減）、当期純利益12億円を見込んでおります。

株主の皆様には、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 渡 邊 要

## 第61期 (2012年度)

## 連結経営成績

売上高 **17,213** 百万円 (前年同期比 1.1%増)

経常利益 **2,559** 百万円 (前年同期比42.9%増)

当期純損失 **109** 百万円 (前年同期は8億10百万円の純利益)

## ■売上高



## ■営業利益



## ■経常利益



## ■当期純利益 (△は当期純損失)



## ■純資産



## ■自己資本比率



## 肥料事業

お客様のニーズに応え  
多様な製品づくりを行っています。

### ● 製造部門

気候風土が多様で、かつ限られた面積で栽培するわが国の農業では、地域・作物ごとに異なる肥料が必要です。そのため多品種小ロット生産及び時期による需要変動に対応すべく、原料供給から製品包装・積付に至るまで一貫したプラントを、肥料の大消費地に隣接した名古屋・千葉・室蘭の3工場に構築し、長年蓄積したノウハウで合理的かつ無駄のない生産に努めております。



### ● 研究開発部門

農作物の品質向上、収量増加、生産コストの低減、施肥に関わる農作業の省力化を図るために有効な技術の研究に力を入れております。近年では環境に配慮した樹脂被殻が残らない一発施肥型化成肥料や、特別栽培農作物用一発施肥型有機化成肥料、省力型肥料としての一発ペースト肥料をラインナップに加えるとともに、育苗作業を省略できる水稻直播栽培に対応した一発タイプ肥料の開発を進めております。



### ● 販売部門

当社グループでは、創業当時からの「直販ルート」、全農・経済連・農協への「系統ルート」、大手商社等への「商系ルート」の3つの販売ルートをバランスよく使うことで安定的な販売実績を維持しております。また、「技術普及部」を設置し、土壌分析調査やユーザーへの栽培技術指導などにより営業活動をバックアップし、製品の販売にとどまらない総合的なサポートに取り組んでおります。

## 商社事業

### 輸出元との強固な関係で 資源の安定供給に貢献します。



資源の乏しいわが国では、多くの原材料を輸入に頼らざるを得ません。グループ会社である明京商事株式会社は、国内顧客のニーズに合わせて工業用原料及び肥料を中心に輸入販売する専門商社です。特に工業用塩化カリウムは、輸出量で世界最大規模を誇るカナダのカンポテックス社より輸入販売代理権を得ており、わが国で塩化カリウムを直接輸入できる数少ない商社としての強みを発揮しております。また肥料についても、ヤラ・インターナショナル社（ノルウェー）や、エボニック・デグサ社（ドイツ）など、世界有数規模のメーカーより特色ある商品を提供しております。

## 不動産賃貸事業

### 私どもの有する資産は 皆様の毎日の暮らしに役立っています。

当社の不動産賃貸事業は、工場移転等による資産の有効活用を出発点として、収益物件の取得や高採算物件への買換えにより事業を進め、オフィスビルやショッピングセンターの他、大型物流倉庫や事業用賃貸用地を所有しております。このたび老朽化したNFC名駅ビルを建替え、ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ及びファミリーマート、オリックス自動車に賃貸し、平成25年秋のオープン予定となりました。今後も先を見据えた安定収益の確保に努めてまいります。



完成予想図

## ● 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成24年9月30日現在	平成23年9月30日現在
<b>（資産の部）</b>		
<b>流動資産</b>	<b>21,808</b>	<b>21,213</b>
現金及び預金	9,103	7,940
受取手形及び売掛金	5,303	4,752
有価証券	1,999	3,617
商品及び製品	2,215	2,227
仕掛品	246	289
原材料及び貯蔵品	2,479	1,997
繰延税金資産	249	282
その他	211	108
貸倒引当金	△ 1	△ 1
<b>固定資産</b>	<b>21,758</b>	<b>22,686</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>16,488</b>	<b>18,033</b>
建物及び構築物	3,840	4,080
機械装置及び運搬具	326	421
土地	11,850	13,472
建設仮勘定	438	14
その他	31	44
<b>無形固定資産</b>	<b>582</b>	<b>607</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,687</b>	<b>4,045</b>
投資有価証券	3,662	3,056
長期前払費用	252	221
繰延税金資産	10	8
その他	764	764
貸倒引当金	△ 2	△ 5
<b>資産合計</b>	<b>43,566</b>	<b>43,900</b>

科目	当期	前期
	平成24年9月30日現在	平成23年9月30日現在
<b>（負債の部）</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,268</b>	<b>3,598</b>
支払手形及び買掛金	1,806	1,172
短期借入金	—	9
未払金	532	600
未払法人税等	734	231
未払消費税等	37	57
賞与引当金	217	222
役員賞与引当金	0	1
その他	938	1,304
<b>固定負債</b>	<b>1,736</b>	<b>1,931</b>
繰延税金負債	336	345
退職給付引当金	25	24
役員退職慰労引当金	203	208
長期前受収益	741	919
その他	429	432
<b>負債合計</b>	<b>6,004</b>	<b>5,529</b>
<b>（純資産の部）</b>		
<b>株主資本</b>	<b>37,474</b>	<b>38,326</b>
資本金	7,410	7,410
資本剰余金	9,100	9,100
利益剰余金	22,270	22,915
自己株式	△ 1,307	△ 1,099
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>87</b>	<b>44</b>
その他有価証券評価差額金	87	44
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
<b>純資産合計</b>	<b>37,561</b>	<b>38,370</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>43,566</b>	<b>43,900</b>

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ● 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日	自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日
売上高	17,213	17,028
売上原価	13,046	13,054
売上総利益	4,166	3,973
販売費及び一般管理費	2,019	2,041
営業利益	2,147	1,932
営業外収益	607	196
営業外費用	195	337
経常利益	2,559	1,791
特別利益	—	407
特別損失	1,650	806
税金等調整前当期純利益	908	1,392
法人税、住民税及び事業税	962	455
法人税等調整額	56	126
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 109	810
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 109	810

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当期	前期
	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日	自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,596	1,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	372	1,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 752	△ 488
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54	△ 50
現金及び現金同等物の増減額	1,162	2,460
現金及び現金同等物の期首残高	7,940	5,479
現金及び現金同等物の期末残高	9,103	7,940

## ● 貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	平成24年9月30日現在	平成23年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	18,481	17,756
固定資産	20,714	21,667
有形固定資産	15,249	16,775
無形固定資産	577	601
投資その他の資産	4,887	4,290
資産合計	39,196	39,423
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,879	3,042
固定負債	1,696	1,883
負債合計	5,575	4,925
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	33,534	34,458
資本金	7,410	7,410
資本剰余金	9,100	9,100
利益剰余金	18,330	19,047
自己株式	△ 1,307	△ 1,099
評価・換算差額等	86	38
その他有価証券評価差額金	86	38
純資産合計	33,620	34,497
負債及び純資産合計	39,196	39,423

## ● 損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	当期	前期
	自平成23年10月1日 至平成24年9月30日	自平成22年10月1日 至平成23年9月30日
売上高	12,437	12,223
売上原価	9,731	9,897
売上総利益	2,705	2,326
販売費及び一般管理費	1,229	1,226
営業利益	1,476	1,099
営業外収益	939	462
営業外費用	193	339
経常利益	2,222	1,222
特別利益	—	402
特別損失	1,622	786
税引前当期純利益	600	838
法人税、住民税及び事業税	731	138
法人税等調整額	50	152
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 181	548

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ●会社概況（平成24年9月30日現在）

商号 日東エフシー株式会社

設立 昭和27年1月18日

資本金 7,410,675,000円

事業内容 肥料の製造販売、不動産の賃貸借、  
ビジネスホテルの経営

従業員数 260名



## ●役員

代表取締役社長	渡邊	要
常務取締役	水谷	勇
常務取締役	後藤	浩
取締役	脇田	定彦
取締役	寺嶋	隆
取締役	武田	聡
取締役	川邊	宣文
取締役	倉知	保政
常勤監査役	佐藤	秀夫
監査役	林	茂彦
監査役	森川	利政

(注) 常勤監査役佐藤秀夫氏、監査役林茂彦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## ●子会社

協同肥料株式会社

北海道肥料株式会社

中菱肥料株式会社

中日本肥料株式会社

丸菱肥料株式会社

新東化学工業株式会社

明京商事株式会社

日東運輸倉庫株式会社

名京倉庫株式会社

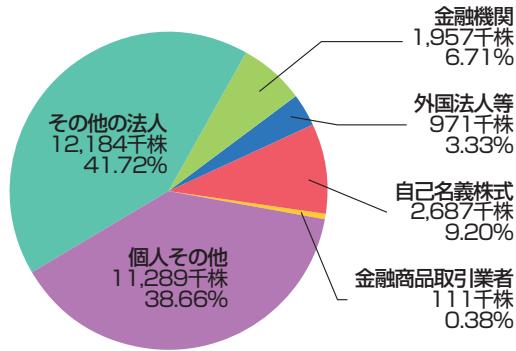
(平成24年9月30日現在)

## ●株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	29,201,735株
単元株式数	100株
株 主 数	3,839名

## ●株式分布状況

## ▶所有者別株式数

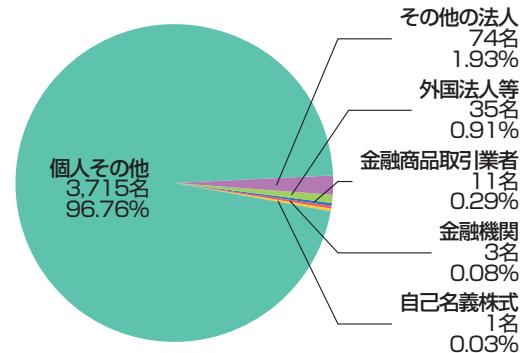


## ●大株主

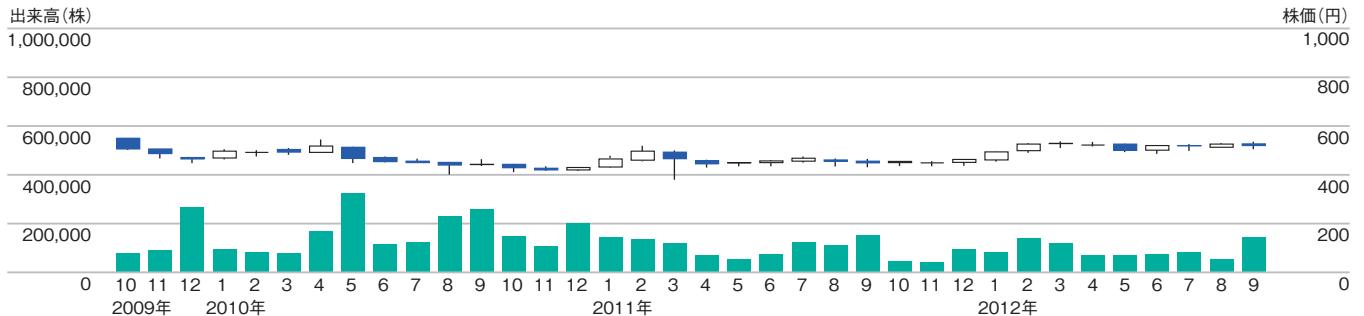
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
渡辺商事株式会社	5,316	18.20
株式会社A. 1	1,790	6.13
三井物産株式会社	1,556	5.32
東邦総合サービス株式会社	1,210	4.14
日本生命保険相互会社	1,141	3.90
渡邊 要	849	2.90
三井住友海上火災保険株式会社	813	2.78
渡邊 浩史	705	2.41
渡邊 孝司	521	1.78
三菱商事株式会社	506	1.73

上記のほか、自己名義株式2,687千株 (9.20%) があります。

## ▶所有者別株主数



## ●株価及び出来高の推移



## 株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで  
 定時株主総会 毎年12月  
 基準日 定時株主総会については9月30日といたします。  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

配当金受領株主確定日 〈期末配当金〉 9月30日  
 〈中間配当金〉 3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 兼 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

(同連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 (〒137-8081)  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話(通話料無料) 0120-232-711

公告掲載方法 電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
<http://www.nittofc.co.jp/>

ホームページもご覧ください。



<http://www.nittofc.co.jp/>

株券電子化後における当社株式に関する手続についてのご案内を掲載しております。

## 株主優待制度

毎年9月30日(決算期)  
 現在で1,000株(10単元)  
 以上所有の株主様に『魚沼産コシヒカリ新米5kg』  
 を年1回贈呈いたします。



優待品は株主様がお届けの住所にお送りしますので、住所変更された株主様は忘れずに住所変更の手続を株主様がお取引の証券会社、または上記株主名簿管理人までお願いいたします。

# 特別口座で株式をご所有の株主様へのご案内

## 1. 特別口座内の単元株式のお取扱いについて

特別口座に当社株式をご所有の株主の皆様におかれましては、証券会社等の口座と異なり、特別口座（以前の登録株式等を含む）のままで株式（100株の整数倍に相当する部分）の売買ができません。つきましては、この機会に証券会社等にご本人の口座を開設（既に開設されている場合は不要です。）し、特別口座から証券会社等の口座にご所有株式の振替請求を行う事をお勧め致します。



## 2. 特別口座内の単元未満株式のお取扱いについて

単元未満株式につきましては、1株から99株についてのみ買取請求または買増請求が可能です。100株の整数倍に相当する部分は単元株式として取り扱われますので、特別口座内では買取請求および買増請求をお受けできません。その様なご不便を解消するために、お早めに特別口座から証券会社等の口座にご所有株式の振替請求を行う事をお勧め致します。



手数料無料で、株式の買増・買取を行っています。

お手続きおよび  
お問い合わせは

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

 日東エフシー株式会社

本社 名古屋市港区いろは町1丁目23番地 〒455-8544  
TEL. 052-661-4381(代) FAX. 052-652-0348  
ホームページアドレス <http://www.nittofco.jp/>

